

公の施設目標管理シート（直営）

年度	令和7年度		
施設名	新潟市巻郷土資料館	所管部・課	西蒲区地域総務課 （巻文化会館）
施設の 設置目的	巻地区の考古、歴史、民俗、その他の郷土資料を収集し、保存し、及び公開することにより、市民の歴史及び文化に対する理解を深めるとともに市民文化の向上に資する。		

問合せ先	0256-72-6757
------	--------------

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R7.7
歳入	818	正職員	0	修正日	
歳出	1,511	会計年度 任用職員	3	評価日	R8.7.2

No.	視点	目標	評価指標						参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	R4実績	R5実績	R6実績	R7目標	R7結果				
1	市民	設置目的に合致したサービスの提供	企画展年2回以上実施	3回	3回	4回	4回以上	4回		・郷土画家 長谷川清晴展 ・郷土出身作家 遠藤 信展 ・西蒲区ゆかりの書画文展 ・資料館収蔵品展	事業計画通り実施できた。	B:達成
2	市民	入館者数の達成	年間入館者3,000人以上	3,297	3,103	3,365	3,000人以上	1,078	今年度から観覧料を徴収する。 R7の目標には、他施設利用開催事業の見込入場者数は含まない。		有料化初年度の入館者数は、前年比マイナス約68%の大幅減となった。	C:未達成
3	業務	他施設の連携	他施設との年間共同開催1件以上	1件	1件	1件	1件以上	1件	いわむろやとの共催	・絵画展を予定	春の長谷川清晴展作品とその門下生作品による三人展を企画し展示した。	B:達成
4	業務	安全確保体制の確立	消防訓練等の実施	2回	2回	2回	2回以上	2回		消防訓練 避難訓練 防災訓練	前期と後期に分け、避難訓練と市消防訓練を実施した。	B:達成
5	人材	郷土資料館企画運営への市民協力者の関与	のぞきからくり等、積極的な関与を展開する活動10回以上	4回	14回	14回	10回以上	13回		・のぞきからくり実演依頼 ・口上師育成の練習場の協力	のぞきからくりの実演は、年間を通して依頼があった。地域巡見の一つとして定着してきた。 口上師の育成は、口上師間で意識され取り組んでいる。	B:達成
6	人材	人材育成に関わり、自己の職能の向上	職員研修の受講年1回以上	1回	1回	1回	1回以上	1回		・服務、勤務の研修 ・コンプライス研修 等	コンプライアンス研修資料を使って、口頭で研修した。	B:達成
7												
8												
9												
10												

取り組みについて（目標設定の考え方など）	総合評価（評価を踏まえた課題分析・方向性など）
・今年度から観覧料(有料化)を実施することから、新たに入館者数を想定していくことになります。 ・所蔵品及び施設の適切な管理に努めるとともに、利用者からの要望に対して迅速に対応し利用しやすい適正な施設であるように努めます。 ・業務の効率化を図り、運営費の適正な執行や利用者の安全管理に努めます。 ・のぞきからくりの実演を区の事業(小学生の文化施設見学)を受け入れたり団体依頼に応じたりして対応に努めます。また、口上師の育成についても協力を惜しみません。	・有料化に伴い入館者数の減少はある程度予想できたものの、予想をはるかに上回る減少となった。今後は企画展内容をより精査し、市民ニーズに合った企画展を関係者の協力を得て行うことが重要な課題である。 ・来館者は広報誌だけでなくSNSを見て来館される方も多いことから、今後も様々な媒体を活用し、より一層積極的な情報発信が必要である。 ・様々な機会を捉え「のぞきからくり」口上師育成と実演により全国唯一の「のぞきからくり」や、越中富山の葉売り知名度が先行されている「越後毒消し売り」の認知度を県内外に向上させて行く必要がある。